

# 進めています！自己改革



私たちは、平成28年度から農家・組合員や地域の方々の豊かな暮らしを支えるため、「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の3つの目標を掲げ、具体的な目標値や行動計画を設定して、自己改革に取り組んでいます。

令和2年度においても、組合員・地域住民の声に基づく自己改革を実践し、農業協同組合の使命である農業所得の向上や地域農業の振興、さらには、地域に根ざした協同組合として「食」と「農」を通じた地域貢献活動に取り組んでいきます。

## JAからつが取り組んでいる自己改革の一部を紹介します

### 農業メインバンク機能強化

#### 1 積極的な事業展開

##### 【出向く活動と農業資金新規実行に伴う保証料助成】

高度化・多様化する担い手へのニーズに応えるため、営農・経済部門と信用部門との部門間連携の更なる強化と、令和元年度より農業金融センターに農業融資相談員3名を配置し、佐賀信連・県域担い手サポートセンターとの連携による県域一体となった出向く活動を強化しておこなっています。訪問活動では、農業者の経営計画の聞き取りをおこない、農業生産の拡大にかかる農地取得・設備資金・農機具導入等の実現のために農業資金を提案し、借入される際に生じる保証機関に対する保証料の助成をおこないました。

##### 《訪問活動実績》

年度	訪問先数	面談回数
平成30年度	617	984
令和元年度	948	1,323

##### 《JAバンク利子助成・補給実績》

年度	件数	助成・補給金額
平成30年度	695	2,808万円
令和元年度	781	4,315万円

##### 《保証料助成実績》

年度	件数	助成金額
平成30年度	235	3,937万円
令和元年度	240	3,925万円

#### 2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた生産者等への資金繰り支援

新型コロナウイルス感染症により、直接的もしくは間接的に農業経営への影響をうけられている農業者を支援するため「新型コロナウイルス感染症対策緊急資金」を新設して融資対応をおこなっています。また、既貸出金についても、条件変更による返済猶予などをおこなっています。

##### 《融資等実績および既貸出金の条件変更実績》

支援取り組み内容(12月末時)	件数	実行金額、対応内容
新型コロナウイルス感染症対策緊急資金	52	8億7,400万円
日本政策金融公庫資金取り次ぎ	6	3億2,600万円
既貸出金の条件変更	4	返済猶予など

#### 3 「持続可能な開発目標(SDGs)」への取り組み

##### 【営農型太陽光発電(ソーラーシェアリング)の紹介】

「営農型太陽光発電(ソーラーシェアリング)」につきましては、耕作農地の上で太陽光発電をおこなうもので「農業収入+売電収入」が得られます。農業者が発電事業に取り組むことによる直接的な所得向上によって、営農継続に対するモチベーション維持・増幅を与え、農業後継者や新規就農者がより農業に取り組みやすくなる事を効果として期待しています。令和2年12月までに、5件の相談を受けました。